

1 全体のコンセプト

学校づくりは、歴史と伝統を後世に継承していく重要な事業である。また、その地域文化のシンボルを作り上げる過程は、新たに地域住民と学校がコミュニティを形成する絶好の機会である。

これは文部科学省より平成20年2月に発行された書籍の中に書かれている一文です。

近年学校施設とは「教育的効果の向上」「地域の風土・文化との調合」「環境への配慮」を満足したものであるべきだと考えられています。

地域住民と共に考え、共に育てることで、長く愛される「おらが学校」になることを考えると、これを実現するには行政の主体的な関わりが不可欠となることから、秦野市公共施設再配置計画検討委員会からの提言も踏まえた上で、下記事項を提案します。



■学校施設の建替えは行政が主体となり、地域住民と共に官設官営で行う

■学校行事や地域住民の活動拠点として、この建物が地域のシンボルとなることを目指す

■「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」の施行を受け、地域産の木材を使った木の学校づくり

■地域住民の利便性及び安全性を確保すると同時に学校の安全な管理区画に配慮された計画

■長期的な建替えも視野に入れた土地利用計画

■事業者負担軽減に配慮した計画

2 複合施設及び敷地内外の複合化の概要

■B棟の複合化

B棟は1階に公民館、2階は学校施設(格技場・音楽室・調理室)とし、市民の利用も考慮した計画。将来既存校舎の建替えを行う際に、2階の学校施設は再整備を行い、空スペースは同時期に建替えを向かえる西中学区内の公共施設統合に備える。

■消防西分署の建替用地

忠魂碑を移設した跡地を公民館及び、施設利用者の駐車場として整備する。

西分署建替えの際は、この駐車場と入れ替える形で再整備を行う。

■計画面積表

| | | A棟 | B棟 | C棟 |
|-----|-------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 面積 | 2階 | — | 635 m ² | — |
| | 1階 | 1,100 m ² | 690 m ² | 140 m ² |
| | 計 | 1,100 m ² | 1,325 m ² | 140 m ² |
| 用途 | 屋内運動場 | 2階:学校 1階:公民館 | 学校 (7-ル付属棟) | |
| 発注者 | 秦野市 | 秦野市 | 秦野市 | |
| 管理者 | 学校 | 2階:学校 1階:秦野市 | 学校 | |

■既存面積との比較

| | 公民館 | 学校 |
|------|----------------------|----------------------|
| 既存建物 | 1,009 m ² | 8,546 m ² |
| 除却建物 | 1,009 m ² | 2,349 m ² |
| 計画建物 | 690 m ² | 1,875 m ² |
| 延べ面積 | 690 m ² | 8,072 m ² |
| 増減 | ▲319 m ² | ▲474 m ² |
| | ▲31.6 % | ▲5.5 % |

3 セールスポイント

■事業者負担の軽減(費用対効果)

●学校施設への木材利用に関する補助金制度(国・県)を最大限活用した計画

- ・文部科学省 「安全・安心な学校づくり交付金」 算定割合…1/3(原則)

※1 木造建築物の建設、内装の木質化を行う場合、環境を考慮した学校施設(エコスクール)として認定し補助金単価の加算措置を行う。

※2 地域材を活用して木造建物を建設する場合、※1に加えさらに補助単価への加算措置を行う。

- ・神奈川県 「森林循環5%システム」 建設工事費の5%を支援

●公民館跡地利用

事業費の軽減を考慮し、売却もしくは公共性の高い福祉施設等へのPPP事業を今後検討する。

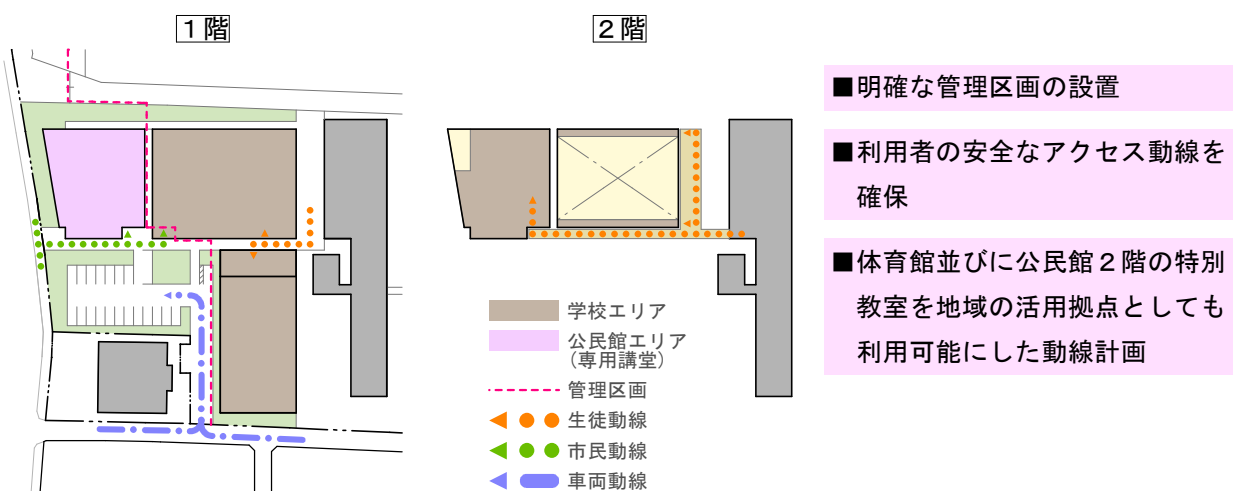
■地域住民と共につくる学校(スケジュール)

| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|---------|----|----|-------|----|----|-----|------|-----|
| ワークショップ | | | | | | | | |
| 設計 | | | ア味 基本 | 実施 | | | | |
| 工事 | 除却 | | | | I期 | | III期 | IV期 |
| | 建設 | | | | | II期 | III期 | V期 |

■手法・技術上の工夫

- ・木造の準耐火構造建築物として、各棟1,500㎡以下の計画とする。
- ・学校の教育活動に支障を与えない建替え計画の提案

4 利用者及び学校教育活動に配慮した点



要綱の内容を熟知し、検討素材として採用された場合は、その内容が氏名等とともに公表されることに同意のうえ、上記のとおり応募します。

| | | |
|-------------|------------------------|----------------------|
| 応募者の氏名又は法人名 | 株式会社 小林建築事務所 (担当 湯山 泉) | |
| 応募者の住所又は所在 | 神奈川県厚木市中町3-18-8 | |
| 連絡先 | 電話 | 046-221-3370 |
| | メール | kobaken@atsumegi.com |